

西中だより

No.15

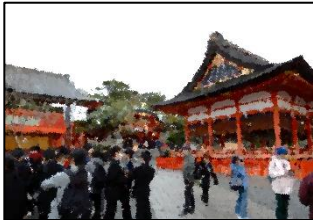
古都の文化にふれる旅

12月2日（月）から4日（水）の2泊3日で奈良・京都方面への修学旅行を実施しました。

初日は、奈良の東大寺大仏殿と京都の伏見稲荷大社を見学しました。東大寺は古都奈良の歴史的文化的財として世界遺産に登録されており、奈良の大仏は大仏殿とともに国宝に指定されています。



大仏殿の前で記念撮影



伏見稲荷本殿前にて

また、伏見稲荷大社は全国の稲荷神社の総本社であり、外国人に最も人気のある観光地です。国の重要な文化財に指定されています。

2日目は京都市内班別自主研修を行いました。グループごとに見

学地や移動手段を決め、事前に立てたスケジュールに沿って行動しました。見学地で班員がはぐれてしまったり、計画通りに進まずやむなく見学地を一部カットしたりと多少のトラブルはありましたが、全ての班がほぼ時間内に宿に帰ってくる事が出来ました。

3日目、まず向かったのは臨濟宗総本山の妙心寺。座禅体験を行いました。一切の音がないうつろと張り詰めた空気の中で、心を無にしたことは得がたい体験でした。

その後、龍安寺へと向かい石庭を見学しました。ここは、修学旅行に向けた事前学習で学んでいたこともあり、熱心に石庭を見つめる生徒の姿がありました。こうして修学旅行はあっという間に過ぎていきました。日本の歴史と文化の奥深さを奈良と京都で肌を通して感じた3日間でした。



龍安寺の石庭にて



静寂に包まれた堂内

また、見学や体験以外にも、友達と寝食を共にした経験は良き思い出として中学校生活の記憶に刻ま

れました。



楽しい夕食の一時



一日の反省

人権作文を発表しました

12月7日、おりなす八女で開催された『スマイルフェスタ八女2019』において、八女市の中学生を代表して本校3年 Sさんが作文発表しました。スマイルフェスタは12月4日からの人権週間に合わせて開催されており、毎年小学生が人権作文を発表しています。Sさんが発表した内容はフェアトレードの問題です。

映像で見た力カ才農場で働く若い兄弟の様子を通して、私たちの日常が彼らの労働の上に成り立っている事に気づき、フェアトレードの重要さを考えるようになったという内容です。



便利で当たり前と思っている日常が誰かの犠牲の上に成り立っている事を考えさせられる内容でした。

ホームページ上では、個人名は、イニシャル・画像は、加工編集し掲載させて頂いています。

《フェアトレード》

例えば、私たちが着るTシャツなど綿製品は、綿花を栽培し収穫する、紡績し布にする、色を染め縫製するなどたくさんさんの工程を経ていきます。

しかし、その裏側で十分に生活出来ない低賃金で働き、貧困に苦しむ途上国の生産者たちがいます。その中には生活を助けるために児童労働者として働き、教育を受けず機会を奪われている子どもがたくさんいます。

そうした発展途上国の生産者や労働者の生活改善を目指すため、正当な値段で物を売り買いすること。その「貿易のしくみ」をフェアトレードと言います。



フェアトレード製品には、このマークがついています。

各種表彰

○福岡県J-A夏休み作品コンクール
【書写七部】優秀賞

Hさん（1年生）

○第10回八女市駅伝大会

- オープン第1位 西中Aチーム
- 第2位 西中Bチーム